

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 充分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
<b>I. 理念・安心と安全に基づく運営</b>							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	B. ほぼできている	事業所理念を職員で話し合っって作成し、目につく場所に掲示している。理念に基づいたケアを意識している。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	C. あまりできていない	コロナ禍で積極的な交流ができていない。ボランティアの受け入れや外出の機会を増やし、地域との関わりを持ちたい。			
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	C. あまりできていない	運営推進会議を2か月に1回開催し、意見交換をしている。議事録を作成し、情報共有をしているが、意見をうまく活用できていない。	・施設でできることから取り組みを始められるといい。 ・会議で出た施設の看板については今年度に取り付け予定だが、看板によって周囲から施設を認知されるとよい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	C. あまりできていない	運営推進会議や市役所への訪問・電話連絡での報告や相談を行い、協力関係を築けるよう努力している。	・市のイベントに参加してみようか。 (三条マルシェやいか合戦等)		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	B. ほぼできている	年2回の研修を実施し、身体拘束に対する理解を深めている。職員全体で拘束しないケアに取り組んでいる。		B. ほぼできている	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 充分にできている	虐待防止の研修を実施し、虐待防止の意識を持ち、業務に取り組んでいる。適切な言葉遣いができるように表現リストを作成し、いつでも確認できる場所に置いている。		A. 充分にできている	

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	C. あまりできていない	年に1回の研修を行っているが、職員の周知には至っていない。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	B. ほぼできている	計画作成が主となり専門用語を使わないようにしながら、分かりやすく説明できるよう努力している。改定時も速やかに連絡して、了承を得ている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	B. ほぼできている	受診時や面会時、電話連絡時に近況報告を行い、ご本人の希望を伝えている。また3か月に1回、写真を掲載したお手紙をご家族に送付している。		B. ほぼできている	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	B. ほぼできている	月に1回全体会議を行ったり個人面談を行うなどして、職員の意見や提案を聞いている。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	B. ほぼできている	年2回の人事考課で個々の能力や努力を把握したり、有休を取得しやすくする等職場環境を整える努力をしている。給与水準の向上が課題。		B. ほぼできている	
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	B. ほぼできている	毎月、全職員に研修を行い、新人職員には指導担当をつけ、進捗状況を見ながら、育成方針の工夫や見直しを行っている。		B. ほぼできている	
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	B. ほぼできている	同法人内での勉強会の開催や、必要時業務の応援等の交流をしている。			

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	B. ほぼできている	利用者様の意見を反映しながら、役割を持ってもらい協力し合って暮らしている。			
15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	C. あまりできていない	感染予防の為、ご家族との面会や外出以外の交流ができていない。友人との文通や電話等、一部の利用者様への支援はできているが課題も多い。	・感染対策をしながら、引き続き支援して欲しい。		
<b>II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	C. あまりできていない	意向を言える方とそうでない方の個人差がある。一人一人の思いや意向を普段から聞き、できる限りご本人の望む生活ができるよう努力する必要がある。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	B. ほぼできている	計画作成が中心となり、3か月ごとのモニタリングと半年ごとの介護計画書の見直しを行っている。現場との情報を密に共有し、ご本人の意向を尊重した計画書が作成できている。	・引き続き支援してほしい。	B. ほぼできている	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	B. ほぼできている	情報の共有はできているが、個々の生活の記録や気づきを増やし、記録を明確化することが課題。		B. ほぼできている	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	C. あまりできていない	新人職員も多く、まだ柔軟に対応できるように至ってはいない。利用者様への理解を深め、柔軟に対応できるようにしていきたい。	・利用者様一人一人の理解を深め柔軟に対応できるようになるといい。		

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	C. あまりできていない	コロナ禍で地域との交流が希薄になっており、地域資源を活用できていない。これから地域資源をリサーチし、交流や外出の機会を増やしていきたい。	・各職員が地域資源への理解を深め、活用できるようになるといい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	B. ほぼできている	受診報告書の作成や電話での相談等を行っており、ご家族の協力のもと、かかりつけ医との関係作りができています。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	C. あまりできていない	入院された事例がなく検討できず。不測の事態に備えて、現場職員は体調の変化時の記録を丁寧にするよう意識し、職員間で情報共有できるようにしている。家族や医療機関との連携は計画作成が中心となって行っている。	C. あまりできていない	・ひめさゆりネットを活用し、医師との連携を図ってみてはどうか。	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	B. ほぼできている	契約前に事業所でできることを十分に説明し、同意を得ている。状態の変化や今後のことについてその都度、意思を確認している。	B. ほぼできている		
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	C. あまりできていない	定期的な研修をしているが、全職員が実践力を身につけているとはいえない。研修を通して知識や実践力を身につけていくことが課題。			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	C. あまりできていない	年2回の避難訓練を実施し、BCPを策定している。各職員がBCPでの役割を把握し知識を深めること、また地域との協力体制を構築していくことが必要となる。	・自治会員や近隣の住民・施設からも協力を得られるといい。	C. あまりできていない	

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	B. ほぼできている	定期的な研修を行い、職員全体で意識し対応できている。		B. ほぼできている	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	B. ほぼできている	一人一人の希望や意向を尊重しながら対応しているが、職員数に余裕のないとき等、職員の都合に合わせてしまう時がある。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	B. ほぼできている	利用者様の希望で食事の準備や片付けを当番制にしている。「今日自分は何当番かな。」と楽しみにしている方もいる。季節の料理を調理レクに取り入れている。		B. ほぼできている	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	B. ほぼできている	一人一人の食事量、水分量を把握している。水分が進まない方への工夫も行っている。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	B. ほぼできている	個々に応じた口腔ケアができています。 (仕上げ磨きや口腔洗浄剤の活用等)		B. ほぼできている	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	B. ほぼできている	トイレの声掛けの工夫を行い、尿・便意のサインの気付きを意識した自立支援に取り組んでいる。排泄係がその都度、対応の見直しをしている。		B. ほぼできている	

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しむように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	B. ほぼできている	入浴日は入浴係が決めているが、その日の体調や気分に合わせて臨機応変に対応している。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	B. ほぼできている	個々の体調や希望に配慮しながら対応ができています。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	B. ほぼできている	薬の目的や用法は情報を共有している。副作用や症状の変化についての知識を深めたい。		B. ほぼできている	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	C. あまりできていない	希望に添えるように努力はしているが、一人一人の生活歴を生かした役割や楽しみごとをまだ十分に提供できていない。小さいことからでも叶えられるよう努力したい。	・できることから叶えられたら良い。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	C. あまりできていない	感染予防の為、希望に沿った外出が思うようにできていない。行きたい場所やしたいことは行事計画に組み込むようにしている。	・感染対策をしつつ、外出する機会を作ってほしい。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	D. ほとんどできていない	本社の方針で現金のお預かりはしていないが、定期的にレク費の一部で好きなものを買に行くお買い物ツアーを企画するなどしている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	C. あまりできていない	私物の携帯電話を持ってこられている方は外部と自由に連絡が取れている。その他希望に応じて電話できるよう支援したり、職員を介して希望を伝えたりしている。			

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進 会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	B. ほぼできている	生花を生けてもらったり、毎月、利用者様と掲示物を手作りしたりして季節を感じられるようにしている。個々の居心地の良い環境づくりを心がけている。		B. ほぼできている	
<b>IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)</b>							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	B. ほぼできている	一人一人の意向に可能な限り寄り添えるように努めている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	今までの生活歴や習慣など職員間で共有し支援できている。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	B. ほぼできている	定期受診や週1回の訪問看護によって体調を把握・連携し、継続的な支援に繋がっている。		B. ほぼできている	
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	B. ほぼできている	生活歴や習慣に基づき、一人一人のペースに合わせて支援している。			
44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	B. ほぼできている	今まで使っていた馴染みのものをお持ちいただき、自宅で過ごしていた時の環境に近づける努力をしている。		B. ほぼできている	

## 令和6年度地域密着型サービス外部評価

事業所番号	1590400204
事業所名	グループホームあさひ
自己評価作成日	令和6年5月15日
運営推進会議開催日	令和6年6月19日
外部評価作成日	令和6年7月11日
提出日・公表日	令和6年7月22日

凡例
A. 十分にできている
B. ほぼできている
C. あまりできていない
D. ほとんどできていない

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述 (具体的な実施状況など)	現状の課題や質の向上に向けて運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述(新たな課題、改善点など)
45	生活の継続性	本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができる	C. あまりできていない	感染予防の為、なかなか実現できていない。これから機会を増やしたい。	・できることから叶えられたら良い。		
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができる	B. ほぼできている	個々の得意なことやできることを生かし、役割分担をしてもらっている。			
47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができる	B. ほぼできている	利用者様同士の会話が弾むように支援したり、配席を工夫している。日々の生活で役割を持ち、協力しながら暮らしている。		B. ほぼできている	
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができる	C. あまりできていない	感染防止の観点から、まだ交流する機会を持っていない。	・近隣施設との交流や広報活動をしてみてはどうか。		
49	総合	本人は、このGHIにいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができる	B. ほぼできている	入居前に一人暮らしをされていた方が多く、自宅で暮らしたい気持ちや不安と葛藤している方も多中、「ここに来て良かった」「(職員に対し)あなたがいて安心」と声をかけてくださる方もいて、職員や施設に親しみや安心を持っていただけていると感じる。	・これからも安心してもらえるような支援を継続してほしい。	B. ほぼできている	